

2022年6月28日

SOMPOホールディングス株式会社

「SOMPO気候アクション」の加速に向けた 「NZIA：ネットゼロ・インシュランス・アライアンス」への加盟と取組方針の強化

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役会長：櫻田 謙悟、以下「当社」）は、2021年度からの中期経営計画において「SOMPO気候アクション^{※1}」（気候変動への「適応」「緩和」そして「社会のトランスフォーメーションへの貢献」）を掲げ、「経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献」を通じたSOMPOのパーパス実現を目指しています。

「SOMPO気候アクション」への取組みを加速させるべく、温室効果ガス（以下「GHG」）排出量ネットゼロの実現に向けて、保険引受ポートフォリオのGHG排出量ネットゼロを目指す「Net-Zero Insurance Alliance」（ネットゼロ・インシュランス・アライアンス、以下「NZIA」）に加盟するとともに、ESGに関する保険引受・投融資等への取組方針を定め、「SOMPO気候アクション」を実践していきます。

1. NZIAへの加盟

当社は、「SOMPO気候アクション」への取組みを加速させるべく、2050年までに保険引受ポートフォリオのGHG排出量のネットゼロを目指すNZIAに加盟し、グループのGHG排出量の実質ゼロに向けた取組みを加速させるとともに、金融機能を活かして社会のトランスフォーメーションに貢献していきます。

なお、当社グループは、「NZAM：ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブ^{※2}」、「NZAOA：ネットゼロ・アセットオーナーズ・アライアンス^{※3}」へすでに加盟しており、今般のNZIAへの加盟により、国内で初めて、2050年までにGHG排出量のネットゼロを目指す金融機関のグローバル連合であるGlasgow Financial Alliance for Net Zero(GFANZ)傘下の3つのネットゼロ・アライアンスに加盟したことになります。

<NZIAの概要>

国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）により2021年7月に設立された国際的なイニシアティブで、2050年までに保険引受ポートフォリオのGHG排出量をネットゼロにすることを目指しています。NZIAでは現在、保険引受ポートフォリオのGHG排出量の測定、目標設定の手法などを開発しており、世界保険料総額の15%以上を占める26社が加盟しています。（2022年6月現在）。

2. ESGに関する保険引受・投融資等に関する方針の強化

NZIA加盟と併せて、当社では「SOMPO気候アクション」の実践に向けESGに関する保険引受・投融資等への取組方針を強化しました。本方針に基づき、取引先や投資先企業へのエンゲージメントによるGHG削減を促進するとともに、新商品・サービスの開発を進め、グリーン社会への移行に欠かせない「エネルギー転換」に貢献していきます。

また、人権課題を含めた「社会的正義の実現」など、お客さまをはじめとしたステークホルダーと

の未来に向けた対話やパートナーシップを通じて、経済価値と社会価値の双方を創出する取組みを加速していきます。(ESGに関する保険引受・投融資等に関する方針は【別紙】をご参照ください)

3. 今後について

SOMPOグループでは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」という「SOMPOのパーパス」の実現に向け、取引先等のステークホルダーとともに、「経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献」を実践していきます。

※1 「SOMPO気候アクション」について

<https://www.sompo-hd.com/csr/materiality/topic1/>

※2 「SOMPOアセットマネジメント株式会社のNZAM加盟」について

<https://www.sompo-am.co.jp/resources/e0/e000a349960ad1dc5fc54d40c3c89de344fdfafa.pdf>

※3 「SOMPOホールディングスのNZAOA加盟」について

https://www.sompo-hd.com/-/media/hd/files/news/2022/20220527_1.pdf

以上

ESGに関する保険引受・投融資等に関する方針

SOMPOグループ（以下、「当社グループ」）は、レジリエントな社会の発展に貢献します。当社グループは、サステナビリティを長期的価値創造の原動力と捉えており、パーパスの基本的な考え方に基づいて保険引受・投融資および事業活動の意思決定を行っています。当社グループの各社が企業としての社会的責任を果たすための「グループサステナビリティビジョン」をはじめとしたビジョン・ポリシー等を策定しており、これらを踏まえて、市場機会を特定し、リスク管理を行い、コミュニティへの参画、社会的責任、ダイバーシティ&インクルージョンの強化等を通じ、当社グループの企業価値の向上を図ります。

当社グループのESGに関する保険引受・投融資等に関する取組方針は以下のとおりです。

◆エネルギー転換の推進

- ・ 当社グループは、気候変動を重要な社会課題に位置づけ「SOMPO気候アクション」として、気候変動への「適応」「緩和」「社会のトランスフォーメーションへの貢献」に取り組むことを掲げています。再生可能エネルギーや革新的技術の普及など保険引受での脱炭素促進や資産運用での温室効果ガス（GHG）排出量の削減ならびに気候変動の適応に資する商品・サービスの提供を進め、経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりに貢献し、2050年までに、保険引受・投融資・事業活動を通じてネットゼロを達成します。
- ・ 石炭火力発電所および炭鉱開発（一般炭）¹については、新設・既設にかかわらず、新規の保険引受および投融資は行いません。加えて、オイルサンドと北極野生生物国家保護区（ANWR、Arctic National Wildlife Refuge）でのエネルギー採掘活動についても、新規の保険引受および投融資は行いません。
- ・ また、2025年1月までにGHG削減計画の策定がない、石炭事業を主業とする企業²や北極野生生物国家保護区（ANWR）のエネルギー採掘活動に関わる企業の保険引受³および投融資は行いません。
- ・ 当社グループでは、国連の持続可能な保険原則（PSI）と責任投資原則（PRI）に署名しており、パリ協定の実現を後押しするために、NZIA（ネットゼロ・インシュアランスアライアンス）、NZAOA（ネットゼロ・アセット・オーナーアライアンス）、NZAM（ネットゼロ・アセットマネージャーズイニシアティブ）に加盟し、お客さまのサステナビリティへの取組みを支援し、お客さまと共に、カーボンフットプリントの削減を目指します。

◆社会的正義の実現

- ・ 当社グループは、「グループ人間尊重ポリシー」のもと、グローバル市場ですべてのステークホルダーの基本的な人権を尊重することを掲げて行動しています。
- ・ 社員一人ひとりがそれぞれの強みを最大限に発揮することを目的に、ダイバーシティ&インクルージョンを成長に向けた重要な経営戦略と位置づけ、その実現に向けた体制と企業風土の構築に努めています。
- ・ また、保険引受、投融資ならびに各取引先（代理店、再保険会社、アセットマネージャー、賃借人、ベンダー等）と新たなパートナーシップを結ぶ際には、サステナビリティに関するビジョン・ポリシー等を考慮します。

◆優れたガバナンスを目指す

- ・ 当社グループは、「グループサステナビリティビジョン」に基づき、高い倫理観のもと、国際的な行動規範を尊重し、お客さま、社員、地域社会、株主など全てのステークホルダーの利益を考慮して経営判断を行います。
- ・ また、TCFD等の開示基準をふまえ、目標達成に向けた進捗状況等について、社会に対して情報を積極的かつ公正に開示していきます。
 - 1- 二酸化炭素回収・利用・貯留技術（CCS・CCUS）、アンモニア混焼等の革新的な技術を有するなど、パリ協定の実現に資するGHG削減効果が見込める場合には、慎重に検討し対応する場合があります。
 - 2- 収入の30%以上を石炭火力発電、一般炭鉱山、オイルサンドの採掘から得ている企業、または30%以上のエネルギーを石炭で発電している企業が対象です。
 - 3- 個々の社員の健康や福祉を支援する保険（労災保険等）には適用されません。

